

# 京ヶ峰の四季

第73・74号

新春・春 合併号

2021 Spring



新病棟「中央総合棟」5階デイルームより京ヶ峰を望む

## 新たな環境で、新たな目標に向かい、職員一同邁進してまいります。

2020年12月3日に始まった当院における新型コロナウイルス感染症との闘いは、クラスター解除となる翌年1月7日まで約1ヶ月間続きました。その間、外来機能の一時停止や入退院の制限など、ご迷惑やご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。また、ご支援くださったみなさまにはこの場を借りて心よりお礼申し上げます。

当院では、昨年2月から院内感染防止対策委員会を中心に新型コロナウイルスの院内への侵入を防ぐために感染対策を徹底してきましたが、残念ながら感染者が発生しました。一方で該当病棟以外に感染が拡がらなかったことは、職員が一丸となり、チームワークのおかげで乗り越えられたと感じています。手前味噌ですが、職員を誇りに思いました。今回の経過を振り返り、検証し、対策を見直すことで、更なる対策の強化に努めるように全職員で立ち向かっていきたいと思っております。

2021年3月1日には念願の新病棟「中央総合棟」をオープンいたしました。本来であれば、2月16日行われました竣工式及び内覧会のご案内を差し上げ、お披露目をすべきところでございますが、新型コロナウイルスの感染防止対策により自粛し、身内のみで執り行いましたことをご容赦ください。

中央総合棟の開設により、患者さま一人ひとりに寄り添った医療を提供できる療養環境が整いました。刻々と変わる医療情勢に合わせ、地域のみなさまに求められる精神科医療を実現するため、職員全員心新たにしております。

今回のコロナに限らず、様々な試練に打ち勝つことは、人生を全うすることだと考えております。つらいこともあります。人生にとって何が大切なのかを学ぶ場でもあります。今回の件で、職員の力を結集すれば大きなことを成し遂げられることを確信いたしました。新たな環境で、新たな目標に向かって、職員一同邁進してまいりたいと思っております。旧来と変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

京ヶ峰岡田病院 院長  
岡田 庸男



基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために  
～ For the Patients ～

## 新型コロナウイルス感染症院内クラスターのご報告

2020年12月3日に職員1名の新型コロナウイルス陽性から端を発した  
当院の女性閉鎖病棟における院内クラスターについてご報告申し上げます。

クラスター発生に伴い、外来機能の一時停止や、入退院の制限などを行わねばならず、患者さま、関係機関のみならず、まには大変なご迷惑やご不便をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

また、精神状態の重い感染患者さまの治療をお引き受けくださった医療機関さま、刻々と悪化する身体症状の管理のため中等症以上の方の受け入れをくださった大学病院や感染指定医療機関さま、昼夜問わず患者搬送にご協力くださった救急隊、クラスター解除に向けてご支援ご指導くださった保健所や認定看護師、DMATの先生方、防護服などの物資のご支援をいただいた医療機関さま、自宅にも戻れず最前線で戦っている職員を温かく迎えてくださった地域の宿泊施設さま、他にもたくさんの励ましのお言葉やご支援をみなさまからちょうだいし、なんとかこの難局を乗り越えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、当院では昨春より新型コロナウイルスの院内への侵入を防ぐべく、早い時期から防護服の確保や着脱の訓練、新入院患者さまへの抗原検査、個室管理、来訪者への入館前体温測定と手指消毒、職員の就業前の体温測定や、同居家族への体調不良時の抗原検査などの考える感染対策を講じてきました。しかしながら、一旦院内へ侵入されてしまうと、精神症状がゆえに感染への理解が十分に得られない方が大半の病棟での対応には非常に苦慮し、最大当該病棟の患者さま41名、職員10名の感染者が確認されました。一般病院では、1つのフロアのなかで感染区域、清潔区域などゾーニングをすることで患者さま同士での新たな感染を防ぐことも可能ですが、当院の当該病棟ではそれは不可能でした。そのため、感染病棟を一時的に新たに設け、発生した病棟は濃厚接触者病棟と位置づけ、できる限りの対応を試みました。懸念された他の8病棟への拡散はみられず、12月25日の陽性確認を最後に終息に向かい、2021年1月7日をもってクラスター解除となりました。

今回の試練を教訓に、更なる感染予防策の徹底を図り、地域のみなさまに安心して受診いただけるよう気を引き締めて取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



## 中央総合棟のご案内

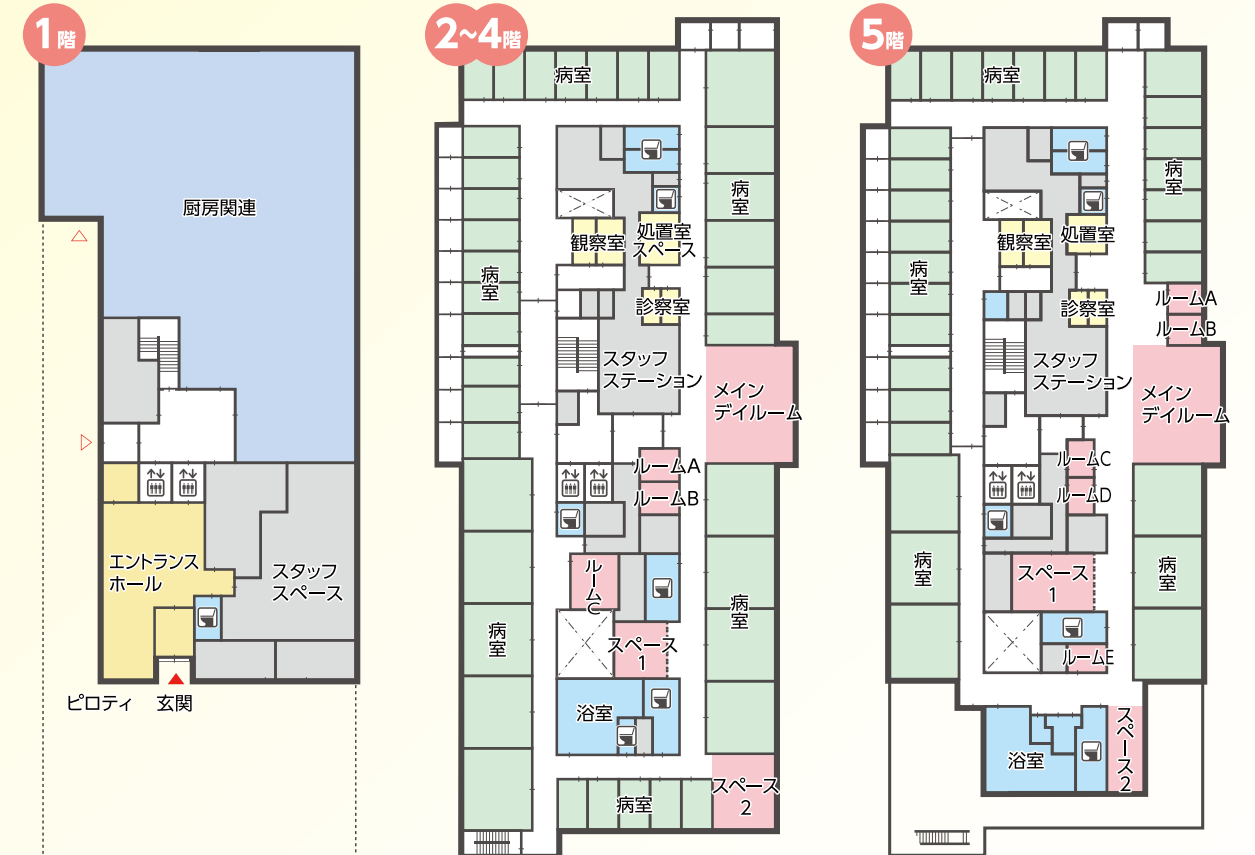
2019年より工事を進めておりました新病棟「中央総合棟」が2021年3月1日にオープンいたしました。工事期間中はご不便、ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びするとともに、無事竣工を迎えられましたことを心より感謝申し上げます。広報誌にて新棟のご紹介をいたします。



### 基本コンセプト

### 豊かな治療環境で、幅広い精神科医療を実現

随所に大きな窓から山や空、木々の緑を望める場所があり、大きささまざまなフリースペースを用意した病棟は、高い個室率とあいまって、患者さまがご自身に最適なやり方とペースで心の健康を取り戻すことのできる環境を目指したものです。職員動線の短縮による業務の効率化で、より多くの時間を患者さまと過ごせることも意図しています。



1階 エントランス、厨房



●エントランス

2~4階 各階 一般病床(70床)



●4床室

●スペース・ルーム

5階 救急病棟(48床)



●病室

●メインデイルーム



# 行事報告

## 開院83周年記念 スポーツ交流会

●11月9日(月)・10日(火)

### 「スティックカーリング大会」➡

1チーム3人から5人、患者さまから職員まで16チームが対戦しました。

【結果】優 勝: 葵2病棟職員チーム  
準優勝: 葵1病棟職員チーム



### ←「モルック大会」

1チーム3人から5人、12本の紙管のできたスキttlを、モルックという棒で倒して得点を競うゲームです。今回は30点ちょうどを目指して14チーム、20代から80代まで、患者さまから職員まで参加しました。

【結果】優 勝: 中病棟職員チーム  
準優勝: 葵2病棟Bチーム



※換気や、参加人数、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施しました。

## 紅白かくし芸大会(動画にて開催)



2020年10月に患者さま・職員を対象に、特技や隠し持っている芸、この行事の為に練習した技など、自由な発想で披露していただいたものを動画撮影しました。32組出場、約1時間の動画です。(院内での閲覧のみです。ご了承ください) 楽器演奏・歌、ジャグリング、ダンス、俳句など思わず笑顔になれる動画満載です。

## 希望食のおしながき

●11月27日(金)「葵2病棟」



- ・三色丼
- ・吉野汁
- ・抹茶プリン(栗とあんこ乗せ)
- ・豆乳(ヨーグルト)

●12月2日(水)「西病棟」

- ・カツカレー
- ・チキンサラダ
- ・杏仁豆腐のコンポート添え



## 開院83周年記念 文化展



●11月9日(月)～13日(金)

院内サニーホーム2階で、患者さま・職員の手芸品、工芸品、書画を展示しました。作品点数は約150点。作品を作ることで創造力や気分の転換、発表し、感想を聞くことで自発性が得られます。

## 総合防災訓練



●12月2日(水)

「地震後、葵病棟からの火災発生」という想定で、総合防災訓練を行いました。今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から若干内容を縮小しましたが、本部の設置、各班の連携、消防署への模擬通報まで、全員が真剣に取り組み、有意義な訓練ができました。



## おすすめコーナー

## 私のライフワーク

私は一日の大半を畑で過ごしています。だから「看護師さんなの？ 農家の人かと思った。」と言われたこともあります。畑を借りるきっかけは、小さな子どもを連れて買い物をする時、野菜が“重い”と感じたことでした。年月が経つに従って子どもが手を離れ、自由時間が増え、元来凝り性であったこと、借地も増えたことで本格的に畑で過ごす時間が増えました。農作業が性に合っているのだと思います。雲の流れを見て風を感じ、自然のなかで汗を流す。今の季節は何を植えようか、どう育てようか、草や野菜を食べる虫とどう闘うか、病気に

はどう対応しようか、考えることは次々と変化していきます。その変化に対応することを面白いと感じています。ゲーム感覚のようだと思います。従って趣味であって金儲けにはなりません。昨年は久しぶりに雉が巣をかけた。梅雨の長雨にも耐え、無事に4羽が孵った様子を見て、「母はすごいな」としみじみ感じました。

看護部 西病棟 新家 美佐子

※次号はPSW部の山本さんが担当します。よろしくお願いします。



編集  
後記

昨年は新型コロナウイルスの影響で世間も当院も大変な1年でした。今年もまだまだ大変な状況が続くと思いますが、干支の「丑」のように一步一步、ゆっくりと着実に進んで行けたらと思います。

広報委員 鳥居

